

Q7. 「流水型ダム」とはどのようなダムでしょうか。

- 流水型ダムは洪水調節専用のダムで、ダムの持つ様々な機能のうち洪水調節機能に特化した目的で建設される、平常時は水を貯めないダムの一形態であり、発揮させるべき機能に応じて洪水調節用のゲートが設置される場合や、設置されない場合があります。
- 洪水時には、一時的に洪水を貯水し洪水調節を行うため、下流沿川の洪水被害を軽減します。
- また、平常時はダムに水を貯めず、河床近くに洪水吐や土砂吐を設置することにより、平常時は、通常の川が流れている状態となることから、平常時から水をためている貯留型ダムと比べて、以下のような環境面の特徴があります。

<環境面の特徴>

- ・ 平常時は通常の川が流れている状態であるため、流入水と同じ水質を維持しやすい。
- ・ 魚類等の遡上、降下や土砂の流下などの河川の連続性を確保しやすい。
- ・ 流水と同時に土砂も流れるため、ダム下流への土砂が供給可能。その結果、堆砂容量も減らすことが可能。

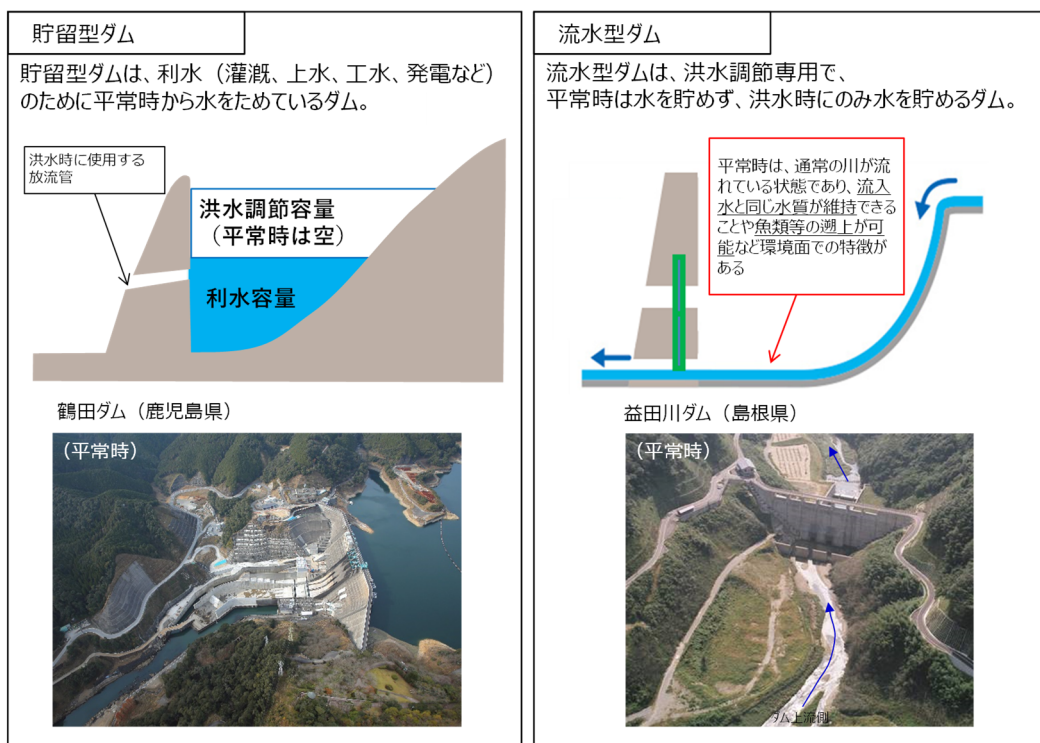


図 貯留型ダム及び流水型ダムにおける特徴